

令和 2 年度の主要な取組（案）について

令和元年度山口県央連携都市圏域推進協議会
令和元年11月25日（月）

1. 山口ゆめ回廊博覧会

【山口ゆめ回廊博覧会実行委員会】

- 第1回総会（平成31年3月29日）：平成31年度事業計画及び予算について
- 第2回総会（令和元年7月2日）：コンダクター業務委託について（特定非営利法人BEPPU PROJECT 代表理事 山出純也）
- 第3回総会（令和元年10月18日）：実施計画中間案の承認
- 第4回総会（令和2年3月開催予定）：実施計画策定予定

【コンセプト】

『7つの市町でつなぐ、7色の回廊』

【会期】

博覧会：令和3年7月1日～12月31日

令和2年度プレ事業：令和2年7月1日～12月31日

- ・博覧会に向けた実証事業の実施期間
- ・9月中旬以降にイベント等を集中的に実施する期間を設け、博覧会の周知・PRを図る

【イベント事業と費用負担】

実行委員会予算	各市町予算
◆周遊プログラム実証事業 ・「うちら！ななゆめ調査団！」 謎解きとまち歩きを掛け合わせたイベント ・R2年・R3年は7市町で実施 ◆特別イベント実証事業 ・「食の回廊」をテーマに各市町のユニークベニューでイベント実施予定 ・R2年は山口市・宇部市で実証事業を実施 ※その他共通経費等も実行委員会予算	◆各市町リーディング事業 ・各市町が回廊イメージに沿って企画・実施 ※山口市の例 ・県立美術館と連携した雪舟生誕600年に関する企画展 ・山口情報芸術センター（YCAM)における特別展 等 ◆各市町主会場事業 ・各市町の拠点となる施設・エリアで実施 ◆地域資源活用事業 ・ブラッシュアップした既存事業等を実施



令和2年度 博覧会実行委員会予算（案）

単位：千円

実行委員会予算

区分	事業名	事業内容	予算額	各市町負担額						
				山口市	宇部市	萩市	防府市	美祢市	山陽小野田市	津和野町
共通経費	企画運営事業	コンダクター（プロデューサー）委託	10,000	5,380	4,620					
		実行委員会開催経費	600	323	277					
	広報宣伝・プロモーション事業	ウェブサイト開設・運営	3,000	1,614	1,386					
		ポスター・のぼり旗作成	9,500	5,111	4,389					
		圏域観光パンフレット等作成		0	0					
		公式ガイドブック作成	40,000	21,520	18,480					
		情報発信 旅行会社への販売促進・広告	3,400	1,829	1,571					
重点プログラム	重点プログラム実施事業	地域ガイドスキルアップ研修に係る各市町への講師の派遣料	1,100	591	509					
		圏域への訪日外国人旅行者の受入拡大に向けた体制整備（地域通訳案内士育成とWiFi等環境整備）	10,000	4,035	3,465	595	879	355	456	215
		各市町重点プログラム「ゆめ散歩」の外部人材を活用した造成支援（造成支援スタッフの派遣）	7,000	2,825	2,425	416	616	249	319	150
周遊プログラム	周遊プログラム実施事業	周遊イベントの実施（リアル宝探し、スタンラリー等）	15,000	6,053	5,197	892	1,319	533	684	322
特別イベント	特別イベント実証事業	特別イベント実証事業	34,750	18,695	16,055					
合 計			134,350	67,976	58,374	1,903	2,814	1,137	1,459	687
うち地方創生推進交付金			67,173	33,988	29,187	951	1,407	568	729	343
うち一般財源			67,177	33,988	29,187	952	1,407	569	730	344

2. 「やまぐち自治体行政スマートプロジェクト」の横展開

新規事業

概要

税務業務・内部管理業務を対象に、RPA等を活用した事務の効率化・改善を検討し、相違点についてはその要因を明らかにしたうえで、B P Rによる業務効率化・標準化のための手順やツールの活用方法を整理・具体的な実務への落とし込みを行い、その成果について、圏域市町への横展開を図る。

人口規模がほぼ同程度である4市（宇部市・山口市・岩国市・周南市）において、税務業務・内部管理業務を対象に、RPA等を活用した事務の効率化・改善を検討。（令和元年度）

個人住民税	「給与所得者等異動届出書に基づく課税異動業務」における、異動届出入力処理（eLTAXから基幹系への連携処理）
軽自動車税	「軽自動車税賦課業務」における入力処理（国等データから基幹系への連携処理）
法人市民税	法人設立・設置・異動届の入力処理（eLTAXから基幹系への連携処理）
財務会計 （財 政）	「決算統計事務」における決算額一覧表の分析作業（作業全体に適用可能か実証）
庶務事務	「通勤手当申請」における申請内容審査作業および審査結果入力処理

RPA導入

＜想定削減時間等効果※＞

- ・個人住民税
約200～1,300時間
- ・軽自動車税
約700時間
- ・法人市民税
約7～65時間
- ・財務(財 政)
約14時間
- ・庶務事務
約17～35時間
- ・全体効果
正確なデータ連携の実現

※現状作業時間の対象業務調査における対象業務候補の最小値から最大値。事前準備や作業が新たに発生することにより変動の可能性あり。

成果の横展開

- ・人口減少が深刻化しても、持続可能な形で行政サービスを提供
- ・入力などの単純作業等から職員を解放し、より価値のある業務に注力する時間を確保
- ・標準化が可能な業務を整理し、将来の圏域マネジメントの素地を構築

3. 圏域の中小企業魅力体感フェア

新規事業

【ねらい】

中高生に圏域内企業の仕事や魅力を体感してもらうことで、
地元企業への理解や関心を高め、地元での就職意識の醸成を図る。

概算要求額

20,000千円

(R2年度 山口市予算要求)

【事業背景】

- ・多くの学生は圏域内の企業を十分知らずに就職・進学している。
 - 進学する高校生は全体の約7割で、大学・短大への進学者の内、7割以上が県外に進学し、優秀な人材が流出
 - 就職する高校生は全体の約3割で、県内就職内定率は8割以上と地元就職比率が高いが、地元企業の情報収集は限定的になりがち
 - 中学生時期における職業観の形成やなりたい職業の選択肢を広げてあげることが必要

【事業内容(案)】

- ・参加対象：圏域内の中学生・高校生・一般（約4,000人）
- ・イベント内容：圏域内企業の紹介・体験ブース（圏域内企業40社程度）
職種等の紹介・体験ブース（業界団体10社程度）
仕事に関するセミナー等の開催（中高生・保護者・教員向け）等
※ARやQRコード等のICT技術を活用した企業ブース紹介を検討
- ・実施時期：令和2年11月中旬又は夏休み期間のうち2日間
- ・実施予定場所：【令和2年度】維新大晃アリーナ（維新百年記念公園）
【令和3年度】山口市産業交流拠点施設（新山口駅北地区）

【目指す姿】

【学生】

地元に愛着を持ち、地元で
就職したいという意識の醸成

【企業】

圏域内企業の優秀な地元人材の確保、
企業プレゼンスの向上



【イメージ画像】写真：H30やまぐち産業維新展

4. ふるさと納税返礼品の圏域版商品の造成

新規事業

【背景】

令和元年6月1日から、ふるさと納税の返礼品は各市町の地場産品とすることが定められた。
ただし、**連携中枢都市圏**に参加する関係市町の同意があれば、
それぞれの地場産品を組み合わせる返礼品として提供することが可能。

概算要求額

500 千円

(R2年度 山口市予算)

【ねらい】

圏域市町の地場産品を組み合わせ、魅力的な返礼品を造成することにより、

- ・ **寄附額の増額及び圏域の特産品振興**を図る。
- ・ 圏域の認知度及び相乗効果による各市町の魅力の向上を図る。

【事業内容】

(1) 共通返礼品の造成

- ・ 返礼率3割の考え方、送料負担の考え方、返礼品提供事業者の条件等の共通ルールを整理

(例①) 圏域市町の特産品が定期的に届く定期便

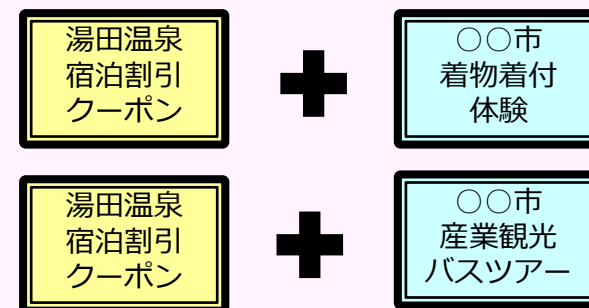


(例②) 圏域市町の特産品の詰め合わせ



野菜の詰め合わせイメージ

(例③) 圏域市町を周遊できる体験型返礼品



＜先行的な取組＞ 令和2年4月から実施予定

- 「山口市×美祢市」 両市の果物（加工品含む）を交互にお届けする定期便の設定
- 「山口市×防府市」 両市の野菜や加工品等の詰め合わせ商品（J A）
- 「山口市×山陽小野田市」 レノファ山口F Cの返礼品等

(2) 共通返礼品のパフレットを作成

⇒首都圏で行われるふるさと納税イベントでのPRや圏域住民の目に触れる場所に設置